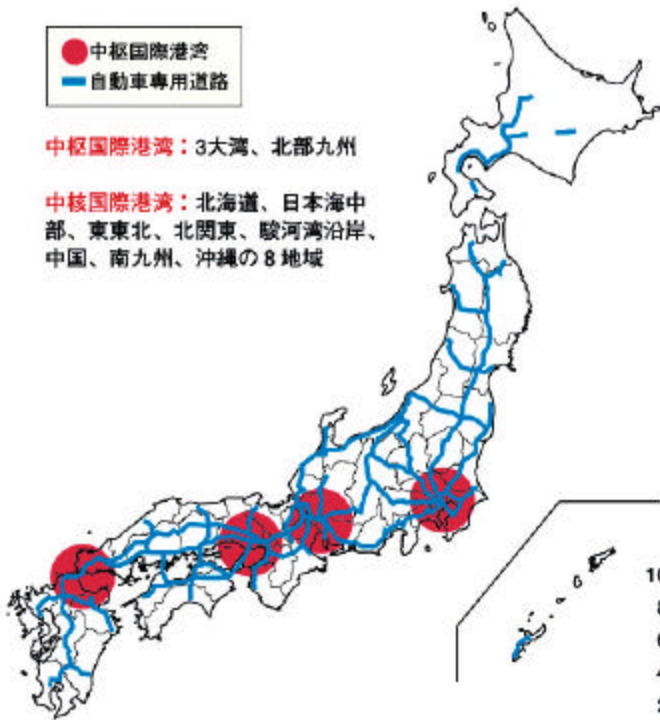


■国際海上コンテナターミナルの拠点的全国配置



▲中枢国際港湾、中核国際港湾における国際海上コンテナターミナルの拠点的整備を進め、陸上輸送コストをはじめとする物流コストの削減を図ります。

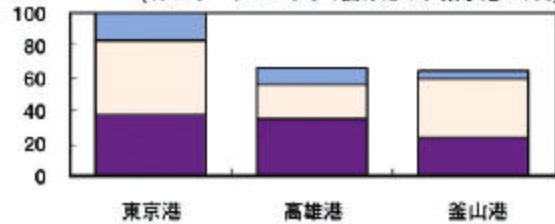
■国際競争力の確保に向けた港湾のソフトサービス



▲国際競争力確保のために港湾諸手のワンストップサービスの更なる推進、24時間フルオープンサービス等の実現を目指します。(横浜港)

■港湾コストの国際比較事例

(40フィートコンテナ1個あたり、東京港=100)



■ターミナル費用 ■荷役料 ■船舶関係費用

▲我が国の港湾コスト（コンテナ等の積卸し、船の入出港等に関わるコスト）はアジア諸港と比べてまだまだ高く、いかに低コストで港湾サービスを提供するかも課題となっています。

■スーパー中枢港湾の育成

臨海部国際物流拠点の形成

- ・物流産業の集積
- ・生産・研究開発拠点と海外事業所を結ぶ原材料、部品等の最速輸送体制の形成

コスト競争力の確保

- ・ターミナルコスト
- ・国内フィーダーサービスコスト
- ・タグ専用船舶サービスコスト



世界水準の港湾サービスの提供

- ・港湾物流情報プラットフォームの構築
- ・CIQを含めた港湾のフルオープン化
- ・荷役システムの共同化、IT化、自動化
- ・大型化への対応性を踏まえた岸壁構造と航行きの確保やバースの連携配置

ターミナルオペレーターの経営環境の整備

- ・港湾施設の長期リース制度の導入等【制度化済】
- ・次世代高規格コンテナターミナルオペレーターシステムの構築

▲アジアの主要港を凌ぐコスト・サービス水準の実現を目標に、ターミナルシステムの統合・大型化、IT化等の施策を先導的・実験的に官民一体で展開するスーパー中枢港湾の育成を図ります。

